

とよなか

教え子を再び戦場に送るな！ 2013年10月11日発行NO. 512

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

子ども達が皆で力を発揮する豊かな社会をめざすよ！

学校条例」が施行され、
月の「職員条例」、「府立
学校条例」が施行され、
府教委作成の「教職員
の評価・育成システム」
(手引き)に「今回の改
訂の趣旨」として昨年4
年、府議会の多数の力
で成立させた条例が元に
なっているのです。

なぜ、「授業アンケート」
がでてきたのか？

教職員に説明がおこなわ
れます。

・「評価・育成システム」
の改訂について
・「授業アンケート」に
ついて

1日目の校長会議で「授業
アンケート」実施につい
ての最終の説明をおこな
いました。これから各職
場で、市教委は10月
に求めてきました。

多くの問題かかえ
「授業アンケート」
10月実施へ！

職員会議などで
ていねいな説明を
求めましょう！



講師は本来、対象
外ですね！
同意書が必要です

教師の仕事は、
「授業」だけでは
ないと思いま
すが！

保護者・生徒に
提出を強制する
ことはないです
ね

保護者・生徒に
はどんな手紙を
渡すのですか？

「授業アンケート」
の結果は見ること
ができるんですか？

授業アンケート
で学校がよくな
るんですか？

管理職も含めて、「授業
アンケート」では、
「教師の力量は高まらない。
教育はよくならない。
崩壊する。保護者の信頼関係を
教育はよくならな
い。こうした合意を広げましょ
う。

昨年度、豊中市教委がおこなった「授業アンケートで保護者から寄せられた主な声が多く疑問の声が上がっています。

「情報量が少ないので、一部の事象だけをとらえ

た偏った評価になる恐れがある。アンケートの信ぴょう性に疑問」「アンケートは必要ない（先生を信頼している）」「先生の評価は授業力だけではない」「先生が、人気取りに走つてしまふ恐れがある」

「アンケートをすることによって、教師・保護者・子どもの精神的な影響が懸念される」

「授業アンケート」「評価」「賃金リンク」に反対

ども・保護者から聞くことは大切なことです。しかし、このアンケートは「評価」につなげ賃金格差をうむねらいをもつています。さらに、一方通行のアンケートであり、教師自身が見ることがで

☆全教豊中は引き続き「評価システム・授業アンケート」廃止・撤回を求めて運動をすすめます。

○保護者・教職員が子どもや・教育のことでもともに語り合える学校をつくっていきましょう。

○各職場の実態（子供の声等）を集約し、問題点について実施主体者とします。責任で早急に解決するよう市教委に求めます。

3年生の娘がいます。1年の2学期から「学校に行きたくない」と毎朝泣くようになりました。泣いて身支度しない娘をしかりとばし、どうしてさっさと用意できないのと怒り、学校くらい一人でさっさと行けないのかと責める言動をしていました。徐々に不安を感じ、小さな心を傷つけ、今まで経験したことのないたくさんの子どもや先生のいる中で、日中どんなことがあるのだろうかと想像すると、朝、何となく不安になってしまい、行くのが怖くなっている、そんな娘の心が見えてきました。

他の子と比べることではなく、がんばっていることをほめ、良いところを伸ばし、優しく包んで安心感を与えてあげることだと気がつくようになりました。

私の態度や言葉が変わることで、娘も安心てきて、不安も少しずつへってきました。2年生になるときには、お友だちといっしょに学校に行けるようになりました。その間、担任の先生もずっとお電話やお手紙、教室に送って行った時にも、私に対しても優しく声をかけてください、救われました。

子どもは一人ひとり、いろいろな個性をもっています。つめこみ教育で、小さいうちから競争にかりたてるのではなく、子どもの優しい心を大切にしながら個性を認めあえる学校であってほしいと思います。

そのためには、学校と保護者の信頼関係がとても大切だと思いますし、先生と保護者の信頼関係が大切です。

今、導入しようとしている授業アンケートは、そういう信頼関係を根本から崩してしまうものだと思います。

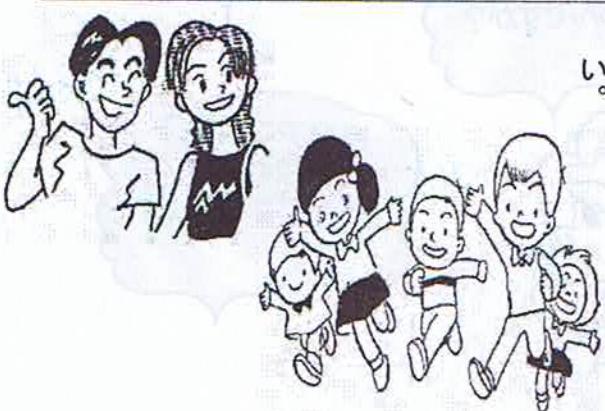
親は子どもから聞く先生の話や参観や懇談等の少しの時間の印象などだけで先生に点をつけなくてはならない…先生も保護者に点をつけられるということで、子どものために言わなければいけないことも、アンケートが気になり言えなくなってしまう…そんなことも出てくるかもしれません。

目前の学力テストの点数に踊らされず、子どもの力を信じ、学ぶ楽しさを教え、子ども自身が自分の好きなことを学んでいけるような学校や教育であってほしいと願います。

そのためには学校・先生と保護者は手を結んで、信頼し、協力していかなければなりません。

そんなときに、アンケートなど必要ないと思います。親も先生も人間なので完璧ではないし、いろいろな問題もあるとは思いますが、その都度、相談しあえる、話し合える関係でありたいと思います。

豊中市在住 小学校保護者 Mさんより



「情報量が少ないので、一部の事象だけをとらえ

た偏った評価になる恐れがある。アンケートの信ぴょう性に疑問」「アンケートは必要ない（先生を信頼している）」「先生の評価は授業力だけではない」「先生が、人気取りに走つてしまふ恐れがある」

「アンケートをすることによって、教師・保護者・子どもの精神的な影響が懸念される」

「授業アンケート」「評価」「賃金リンク」に反対

ども・保護者から聞くことは大切なことです。しかし、このアンケートは「評価」につなげ賃金格差をうむねらいをもつています。さらに、一方通行のアンケートであり、教師自身が見ることがで

☆全教豊中は引き続き「評価システム・授業アンケート」廃止・撤回を求めて運動をすすめます。

○保護者・教職員が子どもや・教育のことでもともに語り合える学校をつくっていきましょう。

○各職場の実態（子供の声等）を集約し、問題点について実施主体者とします。責任で早急に解決するよう市教委に求めます。